

令和8年度一学期終業式にあたり、本来ならば、私もお話ししたいことがありますが、『是非に！』とお願いして、今日は小原副校長先生から、生徒のみなさんにお話をさせていただくこととしました。生徒のみなさんの一番の身近にいてくれるのは、担任の先生だったり、授業や部活動でお世話になる先生だと思いますが、実は、生徒のみなさんが、安心して安全に学校生活を送れるように、見えないところで一番頑張っていてくれるのが、小原副校長先生です。

こうした、『式』と名の付く学校行事はとても大切です。私もみなさんの前で話をする時には、言葉を選び、色々なことを準備します。今日、私からみなさんにお伝えしたいことは準備していましたが、きっと、小原先生も同じことを考えてくれています。今日は、私が一番信頼する小原副校長先生から、みなさんにお話しさせていただくことにしました。 小原先生、よろしくお願いします。

1 学期終業式 式辞

令和8年7月23日(木)

おはようございます。(今一つ元気がないですね。もう一回、おはようございます。)

今日で1学期が終わります。自分の生活を振り返って、どうだったでしょうか。今年度、年間を通して、「礼儀正しい挨拶をしよう」という大きな目標を立ててスタートしました。

校内では、一大イベントとなる「ともえ祭」、学校外では、運動部の高校総体、高校野球の選手権大会、文化部の高総文祭 生徒の皆さんが様々な場所で、成長した姿を表現してくれました。これらの成長と同時に、日に日に体全体で表現する挨拶ができるようになったと感じています。とてもうれしかったです。

心から発し、体全体で表現する挨拶こそ、礼儀正しい挨拶だと自分は感じています。たかが、挨拶と思う人もいるかもしれませんが、とても大きな一歩を踏み出してくれたと思っています。

今、振り返ってみてください。2・3年生は、始業式で校長がどんな年度にしようとおっしゃっていましたか？ 1年生は、入学式で何ておっしゃっていましたか？

2・3年生には「本気で向き合うことでしか見えない景色。自分の秤。」

1年生には、「未見の我。出会いを大切にし、チャレンジすること。」

皆さんに伝えたかったことは、今の自分を1ミリでも超えて、新たな自分に進化することを諦めないで！ということではないでしょうか。

是非、この夏、失敗を恐れず、何かにチャレンジしてください。失敗しても、そこから何かを感じ一歩でも成長した姿で、二学期の始業式を迎えてください。期待しています。

以上